

第5回 千代川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日 時 : 平成31年5月29日(水) 9時30分～10時30分

2 会 場 : 国土交通省鳥取河川国道事務所 1階 会議室

3 出席者

(委員)

鳥取市長(代理) 危機管理部長 乾 秀樹

岩美町長(代理) 総務課係長 田中 聡嗣

若桜町長(代理) 副町長 盛田 聖一

智頭町長 寺谷 誠一郎

八頭町長(代理) 防災室長 田井 信

気象庁 鳥取地方气象台長 川上 徹人

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所長(代理) 副所長 浜田 健一

鳥取県 危機管理局長 西尾 浩一

鳥取県 企業局長 松岡 隆広

鳥取県 県土整備部長 草野 慎一

鳥取県 鳥取県土整備事務所長 福政 孝啓

鳥取県 八頭県土整備事務所長(代理) 副所長 松村 謙一郎

4 議題

(1)「減災に係る取組方針」の見直しについて

(2)今年度の予定について

(3)「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

5 議事概要

○「減災に係る取組方針」の見直しについて

「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の報告書を受け、「ダム放流時の安全・避難対策」を充実させるとともに、「安全で安心して過ごせる避難所の開設」などの対策を追加して取り組んでいくことを確認した。

○減災対策協議会における今年度の取組について

今出水期に向け、ダム事前放流の本格運用やダム放流操作等の住民説明、避難訓練・水防訓練等に取り組んでいること、また、河床掘削・樹木伐採等の治水対策を進めていることなどを説明した。

引き続き、河川カメラや水位計の増設、ダム下流域の浸水想定図の作成、支え愛マップ作りの支援等、円滑な住民避難に資する取組などを進めて行くことを確認した。

○「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

避難に関する新たな5段階の警戒レベルについて、当協議会における運用の確認を行った。

(主な意見)

- 避難所の開設について、避難直後は環境や物資は完璧でなくてもよいと考えている。長期避難となれば、充実していく。
- ダム放流時の避難に対する現地訓練には、ダム下流域の浸水想定図が必要。早期作成をお願いしたい。
- 住民避難には「支え愛マップ」が有効であると認識している。積極的に作成を推進していきたい。
- 町独自で集落の上流の河川などに設置している防災カメラの映像に量水標などの印が映るとよりわかりやすいので、設置をお願いしたい。
- 夜の避難行動は危険であり、空振りとなっても明るいうちに避難させるべきである。そのため、昨年の豪雨災害では町長自身が無線で避難を呼びかけた。トップが直接呼びかけることにより、本気であると住民に伝わる。
- 自治体職員は役場で対応するため、住民避難は「支え愛マップ」における地域リーダーが重要となる。
- 住民の方に自分の住んでいる場所の危険性をしっかり認識して、しっかり備えていただくことが重要。
- 気象台は危機感をもって防災情報を伝えると同時に、出前講座などを通じて、数多くある防災情報の住民理解のお手伝いをしている。
- 今回の5段階の警戒レベル化についてもしっかり広報はするが、まずは知っていただいて問題なく使っていただくことが大切なので引き続きご協力をお願いする。